

## English follows Japanese

### Genesis 創世記15章1-21節 God's Covenant 神の契約

おはようございます。きょう皆さんと再び礼拝出来ることは祝福です。先週はジョッシュさんに説教をして頂き感謝します。先週の聖句で、メルキゼデクが私たちの大いなる大祭司、イエス・キリスト、を指し示していることを見ました。さて、14章と15章の間に不明な時間の途切れがあります。15章に入ると、アブラムが14章の終わりに勇敢な勝利を体験した後にいた場所とは全く違った場所に見つかります。アブラムは信仰を失ったわけではありませんが、多少の懸念があり、私たちが時々向き合うものと同じような疑問を抱いていました。神はこれらの疑問を用いてアブラムと正式に契約を結び、神が約束を守る力があることを保証しました。きょうこの聖句を読み、アブラムに対する神の御言葉となさることを考え、見る必要があることはその契約は初めから終わりまでアブラムの報いと私たちの救いに導く神の契約であるということです。これはアブラムと神との対話ですが、この会話は神によって始められます。この聖句に入っていく時、神が話される最初の一節を読んでいきましょう。創世記 15章1節

1.これらの出来事の後、主のことばが幻のうちにアブラムに臨んだ。「アブラムよ、恐れるな。わたしはあなたの盾である。あなたへの報いは非常に大きい。」 Let's pray.

15章は神がアブラムをただの偉大な人であるだけでなく、神の御心に適った信仰の人、預言者としてさえ見ることを私たちに望まれていることが明らかです。旧約聖書では常に預言者に神の言葉が臨まれました。イザヤ、エレミヤ、ダニエル、また他のどの預言者であろうと、今読んだと同じ文言が伝達人に与えられる神のお告げの始まりに読むことができます。そして、ここでもそうであるように、多くの場合、幻と言う同じ手段でそのお告げが届けられます。しかし、神がおっしゃることに對して、疑問が生じるかもしれません。神はアブラムになぜ、**恐れるな**。と、おっしゃたのでしょうか。14章では、アブラムの勇敢な信仰の行為をはっきりと見ているので、前の出来事とは結びつかないでしょう。しかしここで、またいつか近い将来に、神はアブラムに臨まれ、**恐れるな**。と言われます。神は御自身が彼を導き、守っていると安心させられます。そして、神の彼のアブラムとの報いの約束の契約の再陳述によって、これから来るもののほんの一部を私たちは見ることができます。しかし、アブラムの反応に、なぜ神がアブラムに彼の加護について安心させ、恐れないよう促したかを見ることができます。2-3節を見てください。

2.アブラムは言った。「神、主よ、あなたは私に何を下さるのですか。私は子がないままで死のうとしています。私の家の相続人は、ダマスコのエリエゼルなのではないでしょうか。」

3.さらに、アブラムは言った。「ご覧ください。あなたが子孫を私に下さらなかったで、私の家のしもべが私の跡取りになるでしょう。」

ここでの神に対するアブラムの反応は重要です。ここで初めて私たちはかれが直接神に話しているのを見ます。勿論、私たちはかれが祈ることを知っています。彼が祭壇を築き礼拝をするのを見ました。しかし、彼の神に対する直接の言葉は初めて聞きます。そして、それらは神の彼が大いなる国民となる約束への疑問でした。神がアブラムに約束を与えられ、彼をこのカナンの地へ移されてから数年経過していました。そして、いまだに彼には子供がおらず、彼とサライは更に年老いて来ています。ほとんどの人はこの時点で神の御計画を疑い始めるでしょう。ですから、神の**彼への恐れるな**という言葉はアブラムの神の御計画と目的に対する疑問に直接語りかけているのです。アブラムの恐れは彼が大いなる国民となるための子供がいらないことです。聖句が進むと神がこの恐れを実際緩和させていることを示す二つの反応を見ます。そこには神の応答とアブラムの応答があります。神の応答は彼のアブラムに与えた約束を繰り返して言う事でした。4-5節を見てください。4.すると見よ、主のことばが彼に臨んだ。「その者があなたの跡を継いではならない。ただ、あなた自身から生まれ出てくる者が、あなたの跡を継がなければならない。」

5.そして主は、彼を外に連れ出して言われた。「さあ、天を見上げなさい。星を数えられるなら数えなさい。」さらに言われた。「あなたの子孫は、このようになる。」契約には三つの要素があったことを思い出してください。まず、種、つまり、やがて大いなる国民となる息子です。土地、神が次に彼に話しかけられることです。そして、アブラムの子孫から地上全体に与えられる祝福です。それは、イエス様です。そして彼と彼の子孫を祝福する人は祝福され、呪う人は呪われるのです。神はここで約束の妨げとなっているのはアブラムに子供がいらないことであるので、ここで明確に彼を大いなる

る国民とする約束を繰り返しておられるのです。神はここで彼に直接、彼は子供を得る。ただの子ではなく、世継ぎとなる息子であることを告げます。それだけではなく、彼の一人の息子はやがて星の数ほどの大いなる国家となるのです。つまり、あまりにも多すぎて数えることができないのです。星を見上げれば、数えても結局、数え切ることができません。

それでは、神の驚くべき約束に対するアブラムの反応はなんでしょう。アブラムの反応は信仰でした。6節 **6.アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。**アブラムの生涯を取り上げるこの創世記の学びの冒頭で私が言ったように、これはアブラムを理解するための鍵となる聖句です。彼は神を信じて、信仰によって生きました。神は彼のその信仰を見て、神の眼からは彼は義と完璧な人と認められました。アブラムは完璧だったのでしょうか。もうすでに見たように、そしてこれからも見るように、絶対違います。しかし、神の義認の賜物、神が有罪の罪人を無罪と宣言される、言いかえれば、不義の人が義とされること、働きによってではなく神との信仰による関係を基にしています。これが福音です。ここ旧約聖書に記されています。ですから、パオロはローマ人への手紙4章で福音を説明するために引用しているのです。ローマ人への手紙 4章2~5節

2.もしアブラムが行いによって義と認められたのであれば、彼は誇ることができます。しかし、神の御前ではそうではありません。

3.聖書は何と言っていますか。「アブラムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」とあります。

4.働く者にとっては、報酬は恵みによるものではなく、当然支払われるべきものと見なされます。

5.しかし、働きがない人であっても、不敬虔な者を義と認める方を信じる人には、その信仰が義と認められます。

私たちは私たちが出来るどんな働きによっても私たちの罪から救われることはできません。十字架の上で私たちの代わりに私たちの罪のために罰を受け死ぬために人となった神であるイエス・キリストの信仰によってのみです。アブラムは神が彼自身には出来ない彼の罪のための贖いまたは償いを何らかの形で備えてくださるだろうと信じていました。私たちは現在、振り返って、その贖いが何で誰であるか、具体的にイエス・キリストであることを知っています。そして、どれだけ祈っても、何回聖書を通読しても、何度教会に足を運んだとしても、赦しを得ることも、義と認められることもありません。神が私たちのイエス・キリストの信仰のみを基に私たちを赦し、義認されると信じることができます。

そして、その信仰さえも私たちの働きではなく、神が私たちの罪のうちに死んでいる無力な罪人に与えられる賜物なのです。死人は何も出来ません。ですから、エペソ人への手紙2章1節は私たちの本来の状態を描写してこう言っています。エペソ人への手紙 2章1節

"さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、それで、私たちにどんな希望があるのでしょうか。さらにエペソ人への手紙2章8-9節で私たちはどこに信仰と赦しのための希望が見つけられるのかを知ります。

エペソ人への手紙 2章8~9節

8.この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

9.行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。あなたがキリストの信仰があれば、それは神があなたに御恵によって無償の賜物として与えられているからです。私は全ての人がこれについて同意していないことを認識していますが、これは聖書の言っている事です。救いについての全ては神と神の御業によるものです。私たちは死んでいます。死人は自分たちのために何も出来ません。これは正にこの聖句の終わり、神が約束を封印される時に見る事です。当時約束や契約に正式に双方が正式に同意するための特定の方法がありました。現在も同じように、少なくとも日本では、席につき、法的文書や契約に印鑑を押します。これが正にこの聖句のこの後の部分で見える事です。そして、この契約の締結する最初の局面は準備です。7-11節を読みましょう。7.主は彼に言われた。「わたしは、この地をあなたの所有としてあなたに与えるために、カルデア人のウルからあなたを導き出した主である。」

8.アブラムは言った。「神、主よ。私がそれを所有することが、何によって分かるのでしょうか。」

9.すると主は彼に言われた。「わたしのところに、三歳の雌牛と、三歳の雌やぎと、三歳の雄羊と、山鳩と、鳩のひなを持って来なさい。」

10.彼はそれらすべてを持って来て、真っ二つに切り裂き、その半分を互いに向かい合わせにした。ただし、鳥は切り裂かなかった。

11.猛禽がそれらの死体の上に降りて来た。アブラムはそれらを追い払った。アブラムは要するに神にある種の保証を求めているのです。彼は信じていました。しかし、彼は神が彼の約束を守られると言う彼を安心させるために目に見える何かがないか知りたかったのです。神は彼に与える必要はありませんでしたが、与えられました。そうすることによって、神は私たちに今でも私たちの救いの契約のイメージを与えてくれます。動物を真っ二つに切り、その間を一緒に歩いて通ることは契約を結ぶときの当時の慣しだったようです。約束や契約の条件に従うことを宣誓することです。神学的には神との契約です。私たちはこの儀式について詳しく知りません。しかし、多くの動物を使うことは神とアブラムの結ぼうとしているこの契約の重要性と意義深さを示しているようです。猛禽類の鳥が肉を狙っており、血だらけで汚れています。アブラムに彼には大いなる国民となる息子が生まれるとは簡単に言えますが、アブラムは現実には息子を見るだけであり、国家となる前に彼は死にます。しかし、神がこの国民に起こる具体的なことについてとても詳しい預言を神が与えたらどうでしょうか。そうすれば、将来のこの記述の読者はアブラムが息子を持つようになることがただの偶然ではないことについて疑いを持たないでしょう。それで、神はこの約束の締結の一部として、神は詳しい預言を与えます。12-16節を読みましょう。12-16節 12.日が沈みかけたころ、深い眠りがアブラムを襲った。そして、見よ、大いなる暗闇の恐怖が彼を襲った。

13.主はアブラムに言われた。「あなたは、このことをよく知っておきなさい。あなたの子孫は、自分たちのものでない地で寄留者となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。

14.しかし、彼らが奴隷として仕えるその国を、わたしはさばく。その後、彼らは多くの財産とともに、そこから出て来る。

15.あなた自身は、平安のうちに先祖のもとに行く。あなたは幸せな晩年を過ごして葬られる。

16.そして、四代目の者たちがここに帰って来る。それは、アモリ人の咎が、その時まで満ちることがないからである。」この部分は預言的です。神はこの聖句でこれらの行いによって彼の約束を繰り返しおっしゃって強化されています。しかし、神はアブラムにさらに彼自身といずれ恵まれる彼の子孫の将来についても告げられています。私たちは聖書の先を読んでいるのでそれらの預言が成就されることを知っています。真の預言者と預言のしるしはその預言が成就することです。世界至るところの教会とまたここ日本でも多くの預言がその大半はこの簡単な基準を越えることができません。成就される聖書の預言は抽象的ではありません。具体的でなくてはならず、具体的詳細まで成就されないものは偽の預言です。今日、預言者と称する人たちからは距離を置いて注意してください。彼らのほとんどは聖書が預言を示す方法には全く沿わないことがお分かりになるでしょう。もし、このことについてさらにお話を希望される方はどなたでも個人的に是非お話しさせてください。

なぜ神がアブラムと彼の子孫に何が起こるかについての預言を与えることは重要なのでしょうか。アブラムの将来に関しての神の支配を際立たせるからです。彼が神であり、彼の約束は彼の未来の知識だけではなく、神の主権による未来の支配を基にしているのです。正にこれが起こるのを見る、出エジプト記の書の説教をいずれしたいと考えています。イスラエルの民がエジプトで400年間隷属された時、神は、キリストの類型であり、彼自身預言者であったモーセを用いて、民をエジプトから導き出しました。そして、その起こり方から、イスラエルの民は神がおっしゃるように多くの財産とともに出ていきます。

出エジプト記 12章35～36節

35.イスラエルの子らはモーセのことばどおりに行い、エジプトに銀の飾り、金の飾り、そして衣服を求めた。

36.主はエジプトがこの民に好意を持つようにされたので、エジプト人は彼らの求めを聞き入れた。こうして彼らはエジプトからはぎ取った。 　　そうして、神は彼の約束と契約を預言に包み、私はあなたを大いなる国民とするとするだけでなく、その国民がどのようなことを体験するかを教えようと言われます。アブラムの後の世代はこの約束を振り返りそれが成就されたことを知り、神は約束を守られ国民の方向性を決定されるので、私は神に従うべきだと言う反応をすることができます。この

反応は私たちの神に対する反応でもあるべきです。しかし、この聖句の結びとなる17-21節を読みましょう。

17.日が沈んで暗くなったとき、見よ、煙の立つかまどと、燃えているたいまつが、切り裂かれた物の間を通り過ぎた。

18.その日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える。エジプトの川から、あの大河ユーフラテス川まで。

19.ケニ人、ケナズ人、カデモニ人、

20.ヒッタイト人、ペリジ人、レファイム人、

21.アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人の地を。」

通常、契約の両当事者は約束を守ることの誓約を示すために割かれた動物の間を歩いて歩きます。しかしこの契約で何が起るか気づいてください。16節でアブラムがこの時、実際は眠っていたことがわかります。それでは、一体誰がこの契約を締結するために割いた動物の間を通過のでしょうか。アブラムではありません。神です。この燃えている松明と煙の立つかまど、初期の炉のようなもので、神を象徴していたのでしょ。燃える柴からモーセ、十戒が与えられたシナイ山の頂、民を夜導いた火の柱。神はこれらの象徴的な契約の調印を通りますが、アブラムは契約を作成するためにも守るためにも何もしません。最初から終わりまで、神が契約を作り、契約を守るために約束されます。人は裏切り、アブラムも神との契約を守らねばならなければ、必ず失敗するでしょう。アブラムもすべての人と同様、義なる者ではありません。彼も神に対するどんな契約も約束も完全に守る事はできません。ですから、神はこの約束を作り、またそれを守るとアブラムに約束されます。

これは私たちの救いのイメージです。覚えていていただきたいのは、このアブラムとの契約は恵の契約の始まりであり、神がキリストの十字架での御業を基に神は彼の民に救いを与えられるのです。私は、先に多くのクリスチャンが信仰は神の賜物であり、彼らは死んでいるので自分たち自身では信仰を選べないと言う考えに不賛成ですと言いました。もし私たちの救いのたとえの部分でも私たちが負うところなら、私たちには契約を守ることができません。私たちはアブラムのように罪人であるので、割いた動物の間を歩いて通ることもできなければ、神に従い、彼に服従することもできません。しかし、神は私たちを選ばれ救いの契約は、私たちではなく、神によって始められました。そして、神は彼の御子イエス・キリストを私たちの罪のために十字架の上で死ぬために遣わされました。神は私たちの罪の贖いのために契約を成就されたのです。私たちは私たちの死以外で罪の代償を支払う事はできません。神は選ばれた者を救われます。なぜならば、救いは初めから終わりまで神のみによってだからです。今日、神はイエス・キリストに応答するようあなたを召し出されているのかもしれない。神は御恵を、神の私たちには相応しくない好意をあなたに差し出されています。もし、あなたがイエス・キリストの信仰によって応答すれば、あなたはあなたのために信仰を与えてくださったお方は約束とあなたとのあなたの永遠の救いのための契約を守られることを確信できます。Let's pray.

## Genesis 15:1-21: God's Covenant

Good morning. It's good to be back with you again today, and I'm very thankful for Josh preaching last week. In that passage, we saw Melchizedek pointing us to our great high priest and king, Jesus Christ. Now, there is a break of unknown time between chapter 14 and 15. And as we enter chapter 15, we see Abram in a very different place than where he ended in Chapter 14 after having experienced a courageous victory. Abram seems to be having some doubts, not losing faith, but experiencing the same type of questions that all of us face from time to time. God uses these questions to formally establish his Covenant with Abram and to assure him of his ability to keep his promise. Today, as we read this passage and consider God's words and actions towards Abram, what we need to see is that it is God's Covenant from beginning to end that leads to Abraham's reward and our salvation. While this is a dialogue between Abram and God, this conversation starts with God. As we get into this passage, let's begin by reading the first verse where God speaks. Genesis 15:1 says, **15 After these things the word of the Lord came to Abram in a vision: "Fear not, Abram, I am your shield; your reward shall be very great."** Let's pray.

Chapter 15 begins with words that make it clear that God wants us to see Abram, not just as a great man, a Godly man of faith, but even as a prophet. It was always to the prophets in the Old Testament that the **Word of the Lord came**. Whether it was Isaiah, Jeremiah, Daniel or any of the other prophets, you can read those same words opening up messages that God gives to them to deliver. And many times that message would be delivered in the same way – by a vision – as it is here. But what God says may raise a question. Why did God say to Abram, **"Fear not."** It could not have been tied to the previous events of chapter 14, since there we see Abraham's courage and faith in action. But here, at some time in the future later, God comes to Abram and says, **Fear not**. He reassures Abram that he is the one leading and protecting him. Then, we see of a little of what is to come with God's restatement of His Covenant with Abram in the promise of reward. But, it is in Abram's response that we see why God needed to reassure Abram of his protection and urge him not to fear. Look at verses 2-3

**<sup>2</sup> But Abram said, "O Lord God, what will you give me, for I continue childless, and the heir of my house is Eliezer of Damascus?" <sup>3</sup> And Abram said, "Behold, you have given me no offspring, and a member of my household will be my heir."** Abram's response here to God is significant. This is the first time we see him speaking directly to God. Now, of course we know he prays, and we can see him worship as he builds altars. But, this is the first time we know his words direct to God. And they are words of questioning the promise that God has made to him regarding becoming a great nation. It has now been several years since God made that promise to Abraham and moved him to this land of Canaan. And still he has no children of his own and he and Sarai are not getting younger. Most people would begin to question God's plan at this point. So, God's words to him of **fear not** are speaking directly to his questioning of God's plan and purpose. Abraham's fear is that he does not have this child to make a great nation.

Now as the passage continues we see two responses to this fear that show that God does in fact alleviate this fear. There is God's response and Abram's response. **God's response was to repeat his promise that he had made to Abram.** Look at verses 4-5. **<sup>4</sup> And behold, the word of the Lord came to him: "This man shall not be your heir; your very own son<sup>[b]</sup> shall be your heir."** **<sup>5</sup> And he brought him outside and said, "Look toward heaven, and number the stars, if you are able to number them." Then he said to him, "So shall your offspring be."** Remember the covenant had three parts. A *seed*, in other words a son to eventually bring about a great nation, and although Abram did not know it, a Messiah. *Land*, that will be

addressed in what God tells him next. And, *Blessing* from Abram's offspring to all the earth – that's Jesus. And blessing to all who bless him and his offspring or curse to those who do not. God is specifically repeating here the promise of making him into a great nation, since not having a child is what stands in the way of that promise. God directly tells him here that he will have a child, and not just a child, but a son, who will be his heir. Not only that, his one son will eventually become a nation of people as numerous as the stars! In other words, so large that it is impossible to precisely count. When you look at the stars, the only answer to can you number them is – no, of course not!

So what is Abraham's response to this amazing promise of God? **Abraham's response was faith.** Verse 6 says, **6 And he believed the Lord, and he counted it to him as righteousness.** As I said at the beginning of this study in Genesis covering Abraham's life, this is the key verse to understanding Abraham. He lived by faith, by believing God. God then looked at that faith and counted Abraham as a righteous or perfect man in God's eyes. Now was Abraham perfect? Absolutely not, as we have already seen and will see again. But God's gift of justification – God declaring a guilty sinner, not guilty – or to put it another way, an unrighteous person, righteous, – is not based on our works, but on our relationship of faith with him. This is the gospel, right here in the Old Testament. It's why Paul uses it to explain the gospel in Romans 4. **Romans 4:2-5 says, 2For if Abraham was justified by works, he has something to boast about, but not before God. 3For what does the Scripture say? "Abraham believed God, and it was counted to him as righteousness." 4Now to the one who works, his wages are not counted as a gift but as his due. 5And to the one who does not work but believes in him who justifies the ungodly, his faith is counted as righteousness.** We are not saved from our sin by any work that we can do. It is only by our faith in Jesus Christ as the God who became man to die on the cross in our place and take the punishment for our sin. Abram believed that God would somehow provide atonement or a payment for his sin that he himself could not do. We now look back and know exactly what or who that atonement is – Jesus Christ. And you can't pray enough or read the Bible enough or be good enough or go to church enough to earn forgiveness and righteousness. You can only believe that God will give it to you based on your faith in Jesus Christ.

And even your faith is not a work that you do, but a gift that God gives to a sinner who is helplessly dead in their sin. A dead person cannot DO anything. That's why **Ephesians 2:1** describes our natural state in that way when it says, **"And you were dead in the trespasses and sins."** So what hope is there for any of us. Further on Ephesians 2:8-9, we see where we can find hope for faith and forgiveness. **Ephesians 2:8-9 says, 8For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9not a result of works, so that no one may boast.** If you have faith in Christ, it is because God put it in you as a free gift of his grace. I know not everyone likes this or agrees with it, but it is what the Bible says. Everything about salvation is due to God and his work. We are dead, and dead people can do nothing for themselves.

This is exactly what we see as this passage closes and **God seals the promise.** At that time, there was a specific way that promises or covenants between two parties would be formally agreed to. **The same as now, at least here in Japan, we sit down at a table and put our inkan on legal agreements and contracts.** This is exactly what we see pictured in the rest of this passage. And the first aspect of sealing this promise is **preparation.** Read verses 7-11.

**7 And he said to him, "I am the Lord who brought you out from Ur of the Chaldeans to give you this land to possess." 8 But he said, "O Lord God, how am I to know that I shall possess it?" 9 He said to him, "Bring me a heifer three years old, a female goat three years old, a ram three years old, a turtledove, and a young pigeon." 10 And he brought him all these, cut them**

in half, and laid each half over against the other. But he did not cut the birds in half. <sup>11</sup> And when birds of prey came down on the carcasses, Abram drove them away. Abraham is basically asking God here for some sort of guarantee. He believed, but he wanted to know if there was something tangible that God would give to assure that he was going to keep his promise. God did not have to give it to him, but he did. And by doing this, he actually gives us a picture of our salvation covenant even now.

Cutting animals in two and walking through them together seemed to be a custom during this time to “seal the deal” as we might say. It was taking an oath to abide by the terms of the contract or promise or as we call it theologically, a covenant. We don’t know a lot about this ritual, but it seems that by using so many different animals, it indicates the importance and significance of this covenant that God and Abraham are entering into. And, it is also bloody and messy as the attacking birds try to take the flesh.

Now, it would be one thing to tell Abram that he would have a son who would become a great nation, but Abram would only see the reality of a son since he would be dead before the nation would happen. But what if God gave very detailed prophecy about specific things that would happen to this nation. Then there would be no doubt on the part of future readers of this account that it was not just a random accident that Abram does later have a son. So, as part of this sealing of the promise, God gives detailed **prophecy**. Let’s read verses 12-16. <sup>12</sup> As the sun was going down, a deep sleep fell on Abram. And behold, dreadful and great darkness fell upon him. <sup>13</sup> Then the Lord said to Abram, “Know for certain that your offspring will be sojourners in a land that is not theirs and will be servants there, and they will be afflicted for four hundred years. <sup>14</sup> But I will bring judgment on the nation that they serve, and afterward they shall come out with great possessions. <sup>15</sup> As for you, you shall go to your fathers in peace; you shall be buried in a good old age. <sup>16</sup> And they shall come back here in the fourth generation, for the iniquity of the Amorites is not yet complete.”

This section is prophetic. He is repeating and reinforcing his promise that is being sealed with the act in these verses. But, God is also telling Abram even more about his own future and the future of these descendants that he will have. Because we can read ahead in the Bible, we know that these prophecies do come true. And the mark of a true prophet or prophecy is that the prophecy comes true. So much of what is called prophecy today in churches around the world and here in Japan does not meet this simple test. Prophecy in scripture that we can see fulfilled is not general. It is specific, and anything less than fulfilling those specific details would be a false prophecy. Please be careful and stay away from anyone who claims to be a prophet today. You will find that most if not all do not line up with the way the Bible shows prophecy. I would be happy to discuss more with any of you individually about this.

Why is this important that God gives this prophecy of what will happen to Abraham and his descendants? It emphasizes God’s control of Abraham’s future. That he is God, and his promise is based not just on his knowledge of the future, but his sovereign control over that future. I hope one day to get to preach through the book of Exodus, where we see exactly this happen. When the people of Israel are held in 400 years of captivity in Egypt and then God uses Moses, another type of Christ and himself a prophet to lead his people out of Egypt. And, because of how it happened, the people of Israel will leave just as God says here – with great possessions. [Exodus 12:35-36](#) tells us, “The people of Israel had also done as Moses told them, for they had asked the Egyptians for silver and gold jewelry and for clothing. <sup>36</sup> And the Lord had given the people favor in the sight of the Egyptians, so that

they let them have what they asked. Thus they plundered the Egyptians. So, God wraps his promise, his covenant, in a prophecy to say, not only am I going to make you a great nation, but I am going to tell you what that nation will go through. Every generation after Abraham could look back at this promise and see that it is fulfilled and have the response of “I should follow God, because I can see that he keeps his promise and determines the course of nations.” This is also the response we should have. But this preparation and prophecy is all leading to the actual **Promise**.

Let's read verses 17-21 as this passage concludes.<sup>17</sup> When the sun had gone down and it was dark, behold, a smoking fire pot and a flaming torch passed between these pieces. <sup>18</sup> On that day the Lord made a covenant with Abram, saying, “To your offspring I give<sup>[c]</sup> this land, from the river of Egypt to the great river, the river Euphrates, <sup>19</sup> the land of the Kenites, the Kenizzites, the Kadmonites, <sup>20</sup> the Hittites, the Perizzites, the Rephaim, <sup>21</sup> the Amorites, the Canaanites, the Girgashites and the Jebusites.” Typically, both participants in the covenant would walk through the pieces of animal to signify their commitment to the promise. But notice what happens in this covenant. We know from verse 16 that Abram is actually asleep now, so who goes through the pieces of animal to seal the covenant? It's not Abraham...It's God. This flaming torch and fire pot, a sort of early stove most likely, represented God. God is many times seen in fire. The burning bush to Moses... on top of Mount Sinai when the 10 commandments were given... A pillar of fire that leads the people at night. God passes through this symbolic signing of the covenant and Abram does nothing to make or keep the covenant. From beginning to end, God is the one who made the covenant and he promises to keep the covenant. Humans would fail, Abram would fail, if he had to keep the covenant with God. Remember, Abram like all humans was not righteous. He could not keep any covenant or any promise to God. So God both made and then promises to keep this promise to Abram.

This is a picture of our salvation. Remember this covenant with Abraham is the beginning of the covenant of grace, where God grants salvation to his people based on Christ's work on the cross. I mentioned earlier than many Christians aren't comfortable with this idea that faith is a gift from God, that they are unable to choose faith for themselves because they are dead. But if any part of our salvation was on us, then we could not keep the covenant. We are unable to walk through those cut up animals and choose to follow God and obey him, because like Abraham we are sinners. But God chose us, the covenant of salvation was initiated by him, not by us. And he sent his son Jesus Christ to die on the cross for our sin. He fulfilled the covenant by paying for our sin. We could not pay for it, except by our death. He saves those whom he has chosen to save, because salvation is completely from start to finish only by God. Today, God may be calling out to you, to respond to Jesus Christ. He is extending his grace, his undeserved favor towards you and if you respond with faith in Jesus Christ, you can be assured that the one who gave you that faith will keep his promise, his covenant with you for your salvation for all of eternity. Let's pray.